

地域経済概況

No.644

2024年12月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【12月】

《景気判断》➡「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を据え置いた
- 個別指標においては「企業収益」について下方修正した

| | | | | | |
|--------|---|-------------------------------|-----------|---|--------------|
| (個人消費) | ➡ | 一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる | (設備投資) | ➡ | 持ち直しの動きがみられる |
| (輸出) | ➡ | おおむね横ばいとなっている | (生産) | ➡ | 横ばいとなっている |
| (企業収益) | ⬇ | 総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている | (企業の業況判断) | ➡ | 改善している |
| (雇用情勢) | ➡ | 改善の動きがみられる | (消費者物価) | ➡ | このところ上昇している |

🔴…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ⬇…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【10月】
令和2年（2020年）=100

| | 季節調整済指数 | | 原指数 | |
|-------------|------------------|---------|------------------|-----------|
| | 指数 | 前月比 (%) | 指数 | 前年同月比 (%) |
| 生産 (速報値) | 104.1 (104.3) | +2.8 | 107.8 (108.0) | +1.4 |
| 出荷 (速報値) | 102.4 (102.6) | +2.6 | 105.7 (105.9) | +0.4 |
| 在庫 (速報値) | 102.3 (102.2) | +0.0 | 102.4 (102.3) | ▲1.3 |

(経済産業省調べ)

- 10月の季節調整済指数（前月比）は生産・出荷は増加、在庫は横ばい
- 生産で上昇した業種…生産用機械工業、自動車工業、金属製品工業など11業種
- 生産で低下した業種…電子部品・デバイス工業、輸送機械工業（除、自動車工業）、化学工業（除、無機・有機化学工業）など5業種
- 製造工業生産予測調査によると、11月は前月比▲2.2%の低下、12月は同▲0.5%の低下見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【11月】

| | 台数 (台) | 前年同月比 (%) |
|------------|---------|-----------|
| 普通自動車等販売台数 | 249,842 | ▲2.0 |
| 軽自動車販売台数 | 139,687 | ▲10.5 |

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 11月の普通自動車等販売台数は前年同月比3か月ぶりの減少、軽自動車販売台数は4か月連続の減少
- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は389,529台（前年同月比▲5.2%）で3か月ぶりの低下

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【11月】

(店舗調整後)

| | | 売上高 (億円) | 前年同月比 (%) |
|-------|--------|----------|-----------|
| 主要5品目 | 売上高総額 | 5,167 | +3.4 |
| | 衣料品 | 1,432 | +5.3 |
| | 身のまわり品 | 831 | +6.4 |
| | 雑貨 | 1,054 | +8.0 |
| | 家庭用品 | 172 | ▲0.1 |
| | 食料品 | 1,417 | ▲1.0 |

(日本百貨店協会調べ)

- 11月の売上高は2か月ぶりの増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+1.1%で2か月ぶりの増加、インバウンドは同+30.4%で32か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+4.6%で38か月連続の増加、10都市以外が同▲0.5%で2か月連続の低下

■スーパー等大型チェーン【11月】

(店舗調整後)

| | | 販売額 (億円) | 前年同月比 (%) |
|------|------|----------|-----------|
| 総販売額 | | 10,666 | +3.5 |
| 部門別 | 食料品 | 7,292 | +5.0 |
| | 衣料品 | 584 | +0.2 |
| | 住関連 | 2,270 | +7.6 |
| | サービス | 25 | ▲1.0 |
| | その他 | 494 | ▲21.6 |

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で1か月ぶりの増加
- 食料品は節約志向が続いて買上点数が回復しないが、農産品の相場高、店頭価格上昇の影響などもあり販売額は伸びた。
- 衣料品は季節商品を中心に動きが鈍かったが、住関連の動きが良かった。

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【10月】

| | | 戸数(戸) | 前年同月比(%) |
|-------|-------|--------|----------|
| 利用関係別 | 総戸数 | 69,669 | ▲2.9 |
| | 持家 | 19,705 | +9.0 |
| | 貸家 | 29,541 | ▲6.7 |
| | 分譲住宅 | 19,577 | ▲9.3 |
| | マンション | 8,837 | ▲13.1 |
| | 一戸建 | 10,511 | ▲7.5 |

(国土交通省調べ)

10月の総戸数は6か月連続の減少

前年同月比は持家は35か月ぶりの増加、貸家は2か月ぶりの減少、分譲住宅は6か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは3か月連続の減少、一戸建住宅は24か月連続の減少

地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲0.9%)、中部圏(同+9.0%)、近畿圏(同▲14.0%)、その他地域(同▲3.3%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【11月】

| | | 受注額(百万円) | 前年同月比(%) |
|-------|------|----------|----------|
| 利用関係別 | 受注総額 | 119,336 | +3.0 |
| | 内需 | 34,326 | +5.0 |
| | 外需 | 85,010 | +2.2 |

(日本工作機械工業会調べ)

11月の受注総額は2か月連続で前年同月を上回り、好不況の目安とされる1,000億円を46か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【11月】

| | | 倒産件数 | 負債総額 |
|-------|--|-------|---------|
| | | 841件 | 1,602億円 |
| 前月比 | | ▲7.4% | ▲36.6% |
| 前年同月比 | | +4.2% | +68.8% |

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は3か月連続で前年同月を上回った

負債総額は4か月ぶりに前年同月を上回った

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【12月】

《総括判断》➡「持ち直している」

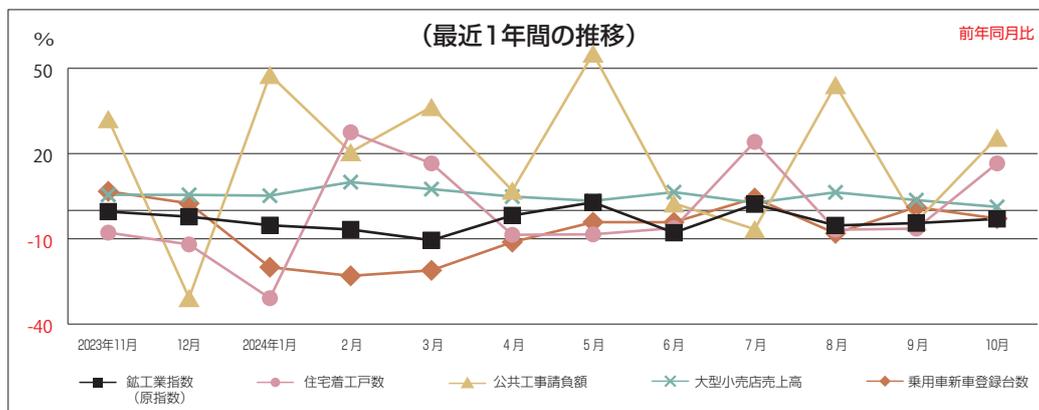
「総括判断」は前回判断を据え置いた

個別の判断は「設備投資」において下方修正し、「雇用・所得」において上方修正した

| | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| (設備投資) 一部に弱めの動きがみられるものの、堅調に推移している | (個人消費) 緩やかに増加している |
| (雇用情勢) 横ばい圏内の動きとなっている | (公共投資) 横ばい圏内の動きとなっている |
| (生産) 持ち直しつつある | (雇用・所得) 緩やかに改善している |

▲…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 ▼…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



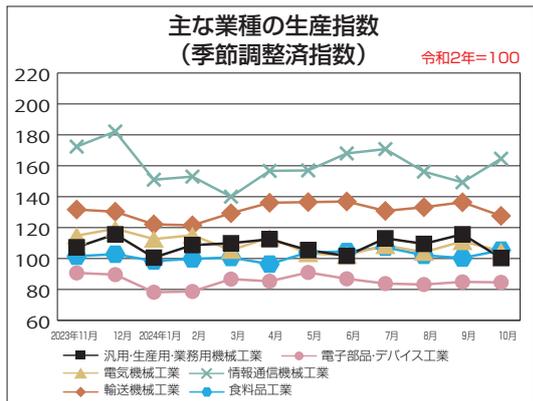
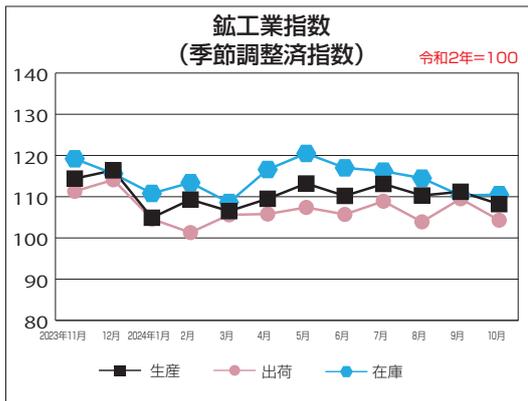
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【10月】 令和2年(2020年) = 100

| | 季節調整済指数 | | 原指数 | |
|--------------|------------------|----------------|------------------|-----------------|
| | 指数 | 前月比 (%) | 指数 | 前年同月比 (%) |
| 生産 (前月確報) | 108.2 (111.2) | ▲2.7 (+0.8) | 113.6 (111.0) | ▲3.0 (▲4.5) |
| 出荷 (前月確報) | 104.3 (109.5) | ▲4.7 (+5.4) | 107.2 (109.0) | ▲4.9 (▲2.0) |
| 在庫 (前月確報) | 110.5 (110.3) | +0.2 (▲3.7) | 111.1 (108.2) | ▲8.8 (▲10.1) |

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産は2か月ぶりの低下、出荷は2か月ぶりの低下、在庫は5か月ぶりの上昇
- 前年同月比 (原指数) で、生産は3か月連続の低下、出荷は3か月連続の低下、在庫は11か月連続の低下
- 生産で上昇した業種…情報通信機械工業、食料品工業、その他工業ほか5業種
- 生産で低下した業種…汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業、輸送機械工業ほか6業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■建築着工統計調査報告 【10月】

| | | 戸数 (戸) | 前年同月比 (%) |
|-------|----|--------|-----------|
| 総戸数 | | 866 | +16.6 |
| 利用関係別 | 持家 | 457 | ▲1.1 |
| | 貸家 | 287 | +62.1 |
| | 給与 | 27 | +1,250.0 |
| | 分譲 | 95 | ▲6.9 |

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は3か月ぶりの増加となった
- 利用関係別では、持家は2か月ぶりの減少、貸家は3か月ぶりの増加、分譲は2か月連続の減少

■公共工事動向 【11月】

| | 件数 (件) | 請負金額 (百万円) |
|--------|--------|------------|
| 国 | 11 | 612 |
| 独立行政法人 | 5 | 61 |
| 県 | 82 | 6,873 |
| 市町村 | 160 | 4,964 |
| 地方公社 | 3 | 90 |
| その他 | 6 | 95 |
| 合計 | 267 | 12,697 |

(東日本建設業保証調べ)

- 11月の請負件数は前年同月▲22件、請負金額は同▲6.7%であった。また、請負金額の発注者別では独立行政法人等(同+4.8%)、県(同+125.0%)で前年同月を上回った一方、国(同▲83.0%)、市町村(同▲22.2%)、地方公社(同▲25.0%)で前年同月を下回った。

小売業

■自動車登録台数 【11月】

| | 台数 (台) | 前年同月比 (%) |
|-------------|-----------|-----------|
| 普通自動車登録台数 | 4,361 | ▲4.5 |
| 軽自動車登録台数 | 3,630 | ▲13.6 |
| 全体 (二輪車を除く) | 7,991 | ▲8.9 |
| 自動車保有台数 | 1,899,064 | +0.1 |

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は2か月連続で減少、軽自動車は4か月連続で減少、全体では2か月連続で減少
- 11月末時点における自動車保有台数内訳…登録車947,771台(前年同月比▲0.2%)、軽自動車912,206台(同+0.2%)、二輪車39,087台(同+2.1%)

■大型小売店売上高 【10月】

| | | 売上高 (百万円) | 前年同月比 (%) |
|------|--------|-----------|-----------|
| 総売上高 | | 23,198 | +1.2 |
| 内訳 | 食料品 | 19,940 | +2.3 |
| | 衣料品 | 1,095 | ▲12.2 |
| | 雑貨・その他 | 2,162 | ▲0.3 |

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は37か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、米価の高騰等を背景に買い上げ点数が減少したため、同+2.3%と前月から伸び率が低下した。衣料品は、季節衣料を中心に販売が低調で、同▲12.2%だった。雑貨・その他は、化粧品は堅調だったものの、日用品が南海トラフ地震臨時情報等を受けた備蓄需要の反動から同▲0.3%となった。

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【10月】 (季節調整値)

| | 月間有効求人倍率 | 前月比 |
|-----|----------|---------|
| 長野県 | 1.31倍 | +0.01pt |
| 全国 | 1.25倍 | +0.01pt |

(厚生労働省・長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.06pt 上回り、全国順位は18位と堅調な推移が続く
☞ 有効求人人数 (季節調整値) は43,003人と前月比+0.4%増加し、有効求職者数 (同) は32,887人と同+0.2%の増加
☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

■新規求人数【10月】 (実数値)

| | 新規求人数 | 前年同月比 |
|----|---------|-------|
| 全数 | 16,990人 | +0.4% |

(長野労働局調べ)

☞ 前年同月比で増加した業種…建設業、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉など
☞ 前年同月比で減少した業種…製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業など

■新規求職者数【10月】 (実数値)

| | 新規求職者数 | 前年同月比 |
|----|--------|-------|
| 全数 | 6,927人 | ▲0.7% |

(長野労働局調べ)

☞ 全数のうち常用は4,077人 (前年同月比▲4.5%)、パートは2,834人 (同+5.5%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【11月】

| | 倒産件数 | 負債総額 |
|-------|---------|----------|
| | 13件 | 3,105百万円 |
| 前月比 | +30.0% | +56.1% |
| 前年同月比 | +333.3% | +522.2% |

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では北信が4件、東信が4件、中信が1件、南信が4件
☞ 業種別では建設業、汎・生産・業務用機械器具製造業、飲食料品卸売業、飲食業がいずれも2件、木材・木製品製造業、機械器具卸売業、運輸業、医療・福祉事業、他のサービス業がいずれも1件
☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

地域経済概況発行終了のお知らせ

これまでのご愛読に心より感謝申し上げます

地域経済概況は長野県の皆さまに地域経済の動向をお届けすることを目的として、昭和52年4月より644号にわたり発行してまいりましたが、発行を終了することといたしました。これまで長きにわたりご愛読いただき、心より深く感謝申し上げます。

地域経済を取り巻く環境は、近年その変化の大きさと速さが増しており、その様な環境下における地域金融機関の使命は、地域経済の発展と持続可能な社会づくりを支えることであると認識しています。当行は、これまで地域経済やお取引先の皆さまの発展に貢献するため、金融面でのご支援にとどまらず、企業の成長ステージ、あるいは、個人のライフステージごとに生じる課題解決への取組を強化してまいりました。

2023年6月1日の株式会社八十二銀行との経営統合以降は、両行が手を携えた「共創」によって地域やお客さまの課題解決力強化に取り組んでまいりました。今後も、地域、お客さまとともに歩み、地域経済の発展と、地域住民の皆さまの暮らしの質の向上に貢献できるよう、全力を尽くしてまいります。

2026年1月1日に当局許認可等を前提として、当行と株式会社八十二銀行は合併し「八十二長野銀行」となる予定ですが、新しい銀行グループとして、これまで以上に努力をしまいる所存です。

皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

